

地理歴史

世界史B 日本史B 地理B

(各科目)
100点

注意事項

- 1 解答用紙に、正しく記入・マークされていない場合は、採点できないことがあります。特に、解答用紙の解答科目欄にマークされていない場合又は複数の科目にマークされている場合は、0点となります。
- 2 出題科目、ページ及び選択方法は、下表のとおりです。

出 題 科 目	ペ ー ジ	選 択 方 法
世 界 史 B	2～ 42	受検できる科目は、受検票に記載されているとおりです。
日 本 史 B	省略	
地 理 B	省略	

- 3 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を高く挙げて監督者に知らせなさい。
- 4 解答は、解答用紙の解答欄にマークしなさい。例えば、10 と表示のある問いに対して③と解答する場合は、次の(例1)のように解答番号10の解答欄の③にマークしなさい。

(例1)

解答番号	解 答 欄
10	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨

また、「すべて選べ」と指示のある問いに対して、複数解答する場合は、同じ解答番号の解答欄に複数マークしなさい。例えば、20 と表示のある問いに対して①、④と解答する場合は、次の(例2)のように解答番号20の解答欄の①、④にそれぞれマークしなさい。

(例2)

解答番号	解 答 欄
20	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨

この注意事項は、問題冊子の裏表紙にも続きます。問題冊子を裏返して必ず読みなさい。

世界史B

第5問 国際社会の平和や安全保障に関する次の文章A・Bを読み、下の問い（問1～6）に答えよ。（配点 18）

A 次の資料1～3は戦争の防止に関わる国際条約の一節である（引用文は一部字句を変え、また省略している）。

資料1

連盟国間に国交断絶に至るのおそれある紛争発生し、第13条による仲裁裁判または司法的解決に付せられざるときは、連盟国は、当該事件を連盟理事会に付託すべきことを約定する。

資料2

ドイツならびにベルギー、また、ドイツならびにフランスは、いかなる場合においても、相手へ攻撃、または侵入し、あるいは相互に戦争に訴えないことを約定する。

資料3

アメリカ、イギリス、フランスおよび日本の4国は、太平洋の諸島や領地に関する権利の相互尊重、共同会議による紛争の解決、侵略に対する措置に関する協議を約定する。

問 1 (1) 資料1は国際連盟規約第15条の規定である。この規定にいう連盟理事会の、創設時の構成国として不適切な国を次の①～⑥から一つ選べ。なお、不適切なものは複数あるが、解答は一つでよい。

24

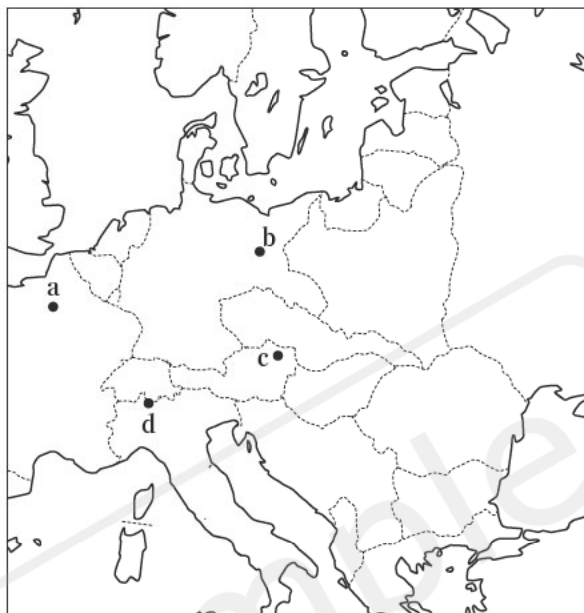
- | | | |
|--------|-----------|-------|
| ① イギリス | ② フランス | ③ ドイツ |
| ④ イタリア | ⑤ アメリカ合衆国 | ⑥ 日本 |

(2) (1)で選んだ国家と最も関係の深い事柄として正しいものを、次の①～⑥から一つ選べ。

25

- | | |
|-----------------|-----------------|
| ① 新経済政策が展開された。 | ② 禁酒法が制定された。 |
| ③ フィウメを併合した。 | ④ 人民戦線内閣が組織された。 |
| ⑤ スパルタクス団が蜂起した。 | ⑥ 労働党が内閣を組織した。 |

問 2 次の地図中の a～d の中で、資料2の条約の調印地として正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 26



- ① a
- ② b
- ③ c
- ④ d

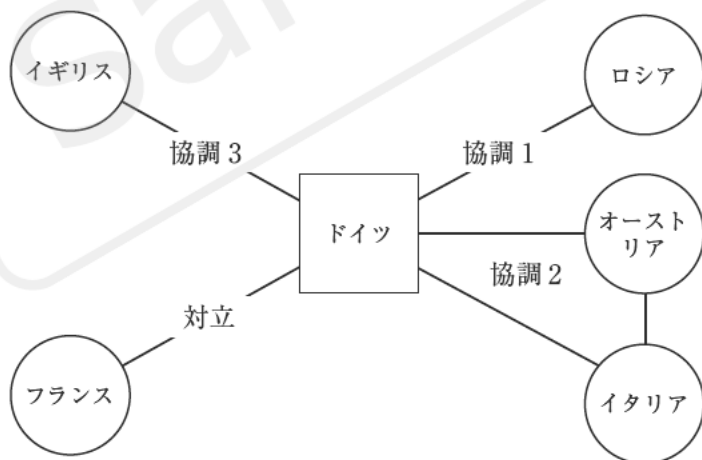
問 3 資料3の条約が結ばれた国際会議について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 27

- ① アメリカ大統領ハーディングの提唱で開催された。
- ② 中国の主権・独立の尊重，領土保全が約定された。
- ③ 補助艦を規制する海軍軍備制限が約定された。
- ④ 日英同盟の解消が合意された。

世界史B

B 第一次世界大戦以前は、個々の国家は軍事力を強化し、④他国と同盟を結び、時には戦争に訴えて自らの安全を守るのが普通だった。しかし、第一次世界大戦の惨害を経験した諸国家は、自らの安全を確保するため新たに集団安全保障という仕組みを作った。諸国家が結合し相互に、かつ全体として平和と安全の実現を目指すというのが基本的な考え方であり、1920年に創設された国際連盟が史上初めての集団安全保障機構であった。しかし国際連盟は世界の人びとの期待を裏切って、⑤国際平和の維持に効果的に対処することが出来ず、第二次世界大戦を招くことになった。しかし第二次世界大戦後、新たに集団安全保障機構として創設された国際連合においても、平和と安全を達成するための中核となるべき⑥安全保障理事会は米ソ冷戦の影響で十分な効果を発揮することができなかった。そして現在にいたるまで国際連合の平和維持機能は世界の人びとの期待に込んでいるとは言いがたいのが現実である。

問 4 下線部④に関連して、次の図は新生ドイツ帝国の安全保障のために宰相ビスマルクが形成した同盟網と対立を表す。それについて述べた文として正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 28



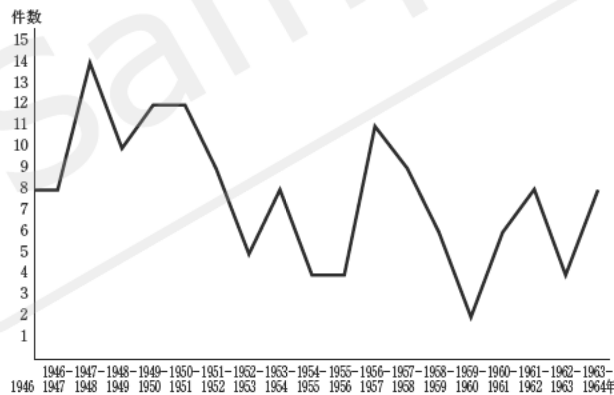
- ① 協調 1 は、再保障条約である。
- ② 協調 2 は、フランスのリビア占領を契機に結ばれた三国同盟である。
- ③ 協調 3 は、イギリス・ドイツ海軍協定である。
- ④ 対立は、モロッコへの進出をめぐる対立である。

問 5 下線部⑤に関連して、第二次世界大戦にいたる時期の出来事について述べた次の文 a・b・c が、年代の古い順に正しく配列されているものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 29

- a イタリア軍がエチオピアに侵攻した。
- b ドイツがオーストリアを併合した。
- c 日本軍が柳条湖事件を起こした。

- | | |
|-------------|-------------|
| ① a → b → c | ② a → c → b |
| ③ b → a → c | ④ b → c → a |
| ⑤ c → a → b | ⑥ c → b → a |

問 6 下線部⑥に関連して、次のグラフは 1946 年から 1964 年まで安全保障理事会で討議された政治問題の件数を示している。それについて述べた文 a と b の正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 30



- a 朝鮮戦争の勃発などにより討議件数が最も多くなった。
- b 討議件数が最も少ない時期にソ連のブレジネフ書記長が訪米した。

- | | |
|------------------|------------------|
| ① a — 正 b — 正 | ② a — 正 b — 誤 |
| ③ a — 誤 b — 正 | ④ a — 誤 b — 誤 |